

第3編

地域別将来展望

第1章 10の地域の将来展望

第2章 地域別将来展望



第1章 10の地域の将来展望

第1節 地域づくりの基本的な考え方

本市は、自然環境や産業など、地域によりそれぞれ特色が異なりますが、一体性を保ちながら、各地域が特性をいかし、機能を補完することで、より一層市全体の魅力を高めていかなければなりません。本市のまちの将来像である「歴史・自然・文化が薫る 誇りと輝きに満ちたふるさと」を実現するには、各地域が個性を伸ばすとともに、それぞれ機能を分担するなど、各地域がその持てる力を最大限発揮することが必要不可欠です。

また、地域の個性をいかし、魅力的で活力ある地域づくりを進めるためには、地域を構成し、地域づくりを担う市民一人ひとりと行政が、地域づくりの目標を共有し、一体となって取り組むことが求められます。

そこで、地域の特性を踏まえ、その将来像を地域ごとに明示します。

地域別将来展望は、本計画におけるまちづくりの目標や目標達成のための方針を、それぞれの地域の現状や課題を踏まえ、地域ごとに設定することで、地域の個性をいかした将来像を示すとともに、そこに住む市民にとってより一層身近な計画とするためのものです。

第2節 10の地域区分

地域区分については、地区のコミュニティを基本としながらも、これまでの長い歴史のなかで培われてきた歴史や文化、現在から将来にわたって担うべき機能など、地域の特色に着目して区分します。

地域を区分する場合、主要な道路や河川、鉄道などを境界とする手法が一般的に使われます。しかしながら、そのように地域を分けてしまうと、道路を一本隔てただけで、地域づくりの方針が全く異なるというようなことが生じてしまうことから、地域の将来像を示すための区分の方法としては適当ではないと考えます。

そこで、この地域別将来展望においては、地域の境界を明確にせず、核となるような施設などを中心として広がるイメージで地域を設定します。

ただし、北会津地域及び河東地域については、新市としての一体感が醸成されるまでの間は、旧町村を単位として区分します。

以上のことを踏まえ、市域を次の10の地域に区分し、地域の将来展望を明らかにします。



地域区分のイメージ図





第2章 地域別将来展望

地域名	主要な施設	地域の将来像
A 鶴ヶ城・中心市街地周辺地域	鶴ヶ城、市役所、会津若松駅、七日町駅	鶴ヶ城を中心として、歴史と伝統がいきづく、人と人とがふれあう賑わいのあるまち
B 西若松駅周辺地域	西若松駅、湯川、阿賀川	西の玄関口・西若松駅を中心として、くらし・商業・工業が調和して発展するまち
C 会津若松インターチェンジ周辺地域	会津若松インターチェンジ、会津アピオ、高久工業団地、神指城跡、高瀬の大木	インターチェンジを中心に、農業・商業・工業が調和して発展するまち
D 会津総合運動公園周辺地域	会津総合運動公園、会津若松工業団地、一ノ堰工業団地	くらし・商業・工業・農業といった多様な機能がバランスよく発展するまち
E 東山温泉・飯盛街道周辺地域	東山温泉、飯盛山、背あぶり山、小田山	いにしへの道がつくる、緑豊かな自然と東山温泉をいかした賑わいのあるまち
F 会津大学周辺地域	会津大学、会津学鳳中学・高校、大塚山古墳	良好な住環境が整備され、会津大学を中心に文教地区として活気のあるまち
G 芦ノ牧温泉・大川周辺地域	芦ノ牧温泉、阿賀川、芦ノ牧温泉駅	豊かな自然がもてなす、南の玄関口として発展するまち
H 猪苗代湖周辺地域	猪苗代湖、赤井谷地沼野植物群落、会津レクリエーション公園	猪苗代湖などの恵まれた自然をいかした躍動感あふれるまち
I 北会津地域	ホテルの森公園、阿賀川、北会津地区シビックゾーン	みどりの田園景観のなかで、農業と良好な住環境が調和して発展するまち
J 河東地域	河東学園、磐梯河東インターチェンジ、県立会津総合病院（仮称）広田駅、堂島駅、東長原駅	自然と調和し、文化を守る心豊かで活力あふれるまち



A 鶴ヶ城・中心市街地周辺地域

～ 鶴ヶ城を中心として、歴史と伝統がいきづく、人と人がふれあう賑わいのあるまち～

地域づくりの背景

市のシンボルである鶴ヶ城をはじめ、史跡・名勝が数多く残されており、適正な保全・整備が求められています。

歴史的な建造物の保全や美しい景観の形成が求められています。

商業施設の郊外への進出による空洞化が進行しており、中心市街地の活性化のさらなる取り組みが求められています。

観光振興による交流人口の増加や観光施設を訪れる観光客のまちなかへの誘導などにより賑わいの創出に取り組んできましたが、さらなる取り組みが求められています。

県立博物館や會津風雅堂、文化センター、図書館などが集積しています。

本市の芸術・文化の中心として、成果発表や鑑賞の機会の充実が求められています。

高等学校や官公庁などの公共・公用施設が集積する市の中心として、交通基盤の整備や都市機能の充実など、さらなる利便性の向上が求められています。

地域づくりの目標

鶴ヶ城を中心とした歴史と伝統がいきづくまちをつくる

人と人がふれあう賑わいのあるまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

観光客や市民の憩いの場所として鶴ヶ城の保存整備を推進し、観光の拠点や公園としての魅力・機能の向上を図ります。

歴史的建造物の保全に努めるなど、市民とともに魅力ある美しい景観の形成を推進します。

まちなか観光と連携するなど、地域と一体となって中心市街地の活性化を推進します。

各種芸術文化の成果発表の機会の充実を図るなど、市民と一体となって、芸術・文化を振興します。

老朽化した小学校の改築や社会教育施設の充実など教育環境の整備を推進します。

身近な道路の整備を推進するなど、良好な住環境の整備を推進します。

県から譲与される会津学鳳高校の建物と土地については、市の財産として有効活用を図った後、市民の合意を得た上で地域振興に資する利活用を図ります。

行政サービスの拠点として、さらには、地震等の自然災害発生時の防災の拠点として、本庁舎機能を有する庁舎の整備を検討します。

主な取り組み

史跡若松城跡の保存整備

まちなか観光の推進

路地の整備

(仮称)生涯学習総合センターの整備

行仁小学校の改築

謹教地区コミュニティセンターの整備

湯川・大町線(高瀬東山線)の整備促進

インター南部幹線の整備推進

会津若松駅中町線の整備推進

人にやさしいみちづくり歩道整備の推進(市道幹 11号線)

県から譲与される会津学鳳高校建物・土地の有効活用と整備

歴史的景観指定建造物の指定と支援

商店街の魅力向上への支援

多様な芸術文化・美術品を鑑賞する環境の充実

鶴ヶ城小学校の改築

鶴ヶ城地区コミュニティセンターの整備

国道118号(亀賀門田線)の整備促進

稲荷山七日町線の整備推進

藤室鍛冶屋敷線の整備推進

市道幹 6号線の整備推進

本庁舎機能を有する庁舎の整備検討





B 西若松駅周辺地域

～西の玄関口・西若松駅を中心として、くらし・商業・工業が調和して発展するまち～

地域づくりの背景

鶴ヶ城の最寄り駅である西若松駅がリニューアルされ、本市の西の玄関口としての機能向上が求められています。

地域西部から南部にかけては、従来から工場が集積していましたが、国道 118 号若松西バイパスなどの整備等により、宅地化が進むとともに、商業施設の立地が増えています。

畑作を中心として、農業が盛んですが、施設園芸作物などによりさらなる農業振興が求められています。地域を流れる阿賀川及び湯川は、身近な憩いの場として親しまれていますが、湯川の下流部の水質は、下水道の普及等により改善のきざしがみえるものの、なお一層の水質改善への取り組みが求められています。

地域づくりの目標

西若松駅を中心に西の玄関口にふさわしいまちをつくる

商業と工業が調和した活力のあるまちをつくる

施設園芸作物の振興による農業が盛んなまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

首都圏とつながる会津鉄道会津線の起点駅であり、また、鶴ヶ城の最寄り駅でもある西若松駅をいかして、交流人口の増加を図ります。

鉄道事業者やバス事業者と連携して、西若松駅を中心とした公共交通機関の充実を図ります。

商工業のバランスの良い発展と、地域の良好な都市環境の形成のため、道路や下水道などの都市基盤の整備を推進します。

有機栽培など高付加価値型の農業を推進するとともに、施設園芸作物の産地化、ブランド化を図ります。

地域住民と協力して、美しい水辺環境の保全を推進します。

主な取り組み

西若松駅周辺の整備促進
公共交通機関の利便性向上の促進
市道幹 17号線の整備推進
個別生活排水処理施設の整備
湯川環境美化活動の推進

会津鉄道の安全対策・高速化の取り組みへの支援
国道 118 号若松西バイパスの整備促進
公共下水道の整備
施設園芸作物の高品質安定生産
認定農業者等の担い手の育成





C 会津若松インターチェンジ周辺地域

～インターチェンジを中心に、農業・商業・工業が調和して発展するまち～

地域づくりの背景

磐越自動車道や国道49号など幹線道路が集中する交通の要衝であり、中心市街地や周辺地域とのアクセス道路の整備が求められています。

磐越自動車道の全線開通など交通基盤の整備に伴い、会津アピオや高久工業団地などの商工業機能が整備されています。

インターチェンジ周辺は農地として整備されていますが、インターチェンジの機能をいかした、新たな土地利用が期待されています。

稲作を中心として農業が盛んであり、良質な会津米の生産振興と低コスト生産体制の確立が求められています。

神指城跡や高瀬の大木（ケヤキ）などの歴史的・文化的資源に恵まれており、それらをいかした地域の活性化が求められています。

地域づくりの目標

商業と工業が調和した活力のあるまちをつくる

良質な会津米の生産を軸とした農業が盛んなまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

幹線道路の整備を推進するなど、交通基盤の充実・強化を図ります。

インターチェンジ周辺は、農地として保全しつつ、将来を見据え、インターチェンジの機能をいかした土地利用を検討します。

農地流動化による農地集積・担い手育成を推進し、会津米の生産振興と園芸作物の産地化、ブランド化を図ります。

神指城跡などの地域資源をいかして地域の活性化を図ります。

身近な道路の整備や汚水処理事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

国道49号と北会津地域を結ぶ阿賀川新橋梁の整備促進
国道118号若松西バイパスの整備促進
市道幹 1号線の整備推進
市道幹 6号線の整備推進
個別生活排水処理施設の整備
地域振興作物の高品質安定生産

地域高規格道路会津縦貫北・南道路の整備促進
浜崎・高野・会津若松線の整備促進
市道幹 2号線の整備推進
（仮称）会津若松学校給食センターの整備
認定農業者等の担い手の育成





D 会津総合運動公園周辺地域

～くらし・商業・工業・農業といった多様な機能がバランスよく発展するまち～

地域づくりの背景

会津総合運動公園は、市民の多様なスポーツ・レクリエーションの拠点としての整備が求められています。

会津若松工業団地や一ノ堰工業団地が整備され、本市を代表する工業地帯を形成しています。

水稻に加え、会津身不知柿や会津人参などの特産物の栽培が盛んであり、地域特産物をいかした農業振興が求められています。

地域の北部は、宅地化や商業施設の集積により人口が増加しており、良好な住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

市民の憩いの場となる潤いのあるまちをつくる

商業と工業が調和した活力あるまちをつくる

地域特産物をいかした農業が盛んなまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

会津総合運動公園は、市民の憩いの場、さらには、スポーツの拠点として計画的な整備を推進します。

地域経済を支える工業地帯としての環境の整備を推進します。

会津身不知柿など、地域特産物のブランド化を図り、特色ある産地づくりを推進します。

農業生産基盤の整備と併せ、担い手の育成や生産性の向上に取り組み、効率的で安定的な農業経営の確立を図ります。

身近な道路の整備や汚水処理事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

会津総合運動公園（陸上競技場等）の整備
会津身不知柿や会津人参など特産物のブランド化の推進
城南地区コミュニティセンターの整備
市道幹 17号線の整備推進
市道門3 150号線の整備推進
個別生活排水処理施設の整備

漆器など地場産業の経営基盤強化への支援
認定農業者等の担い手の育成
国道118号（亀賀門田線）の整備促進
市道幹 22号線の整備推進
公共下水道の整備





E 東山温泉・飯盛街道周辺地域

～いにしえの道がつくる、緑豊かな自然と東山温泉をいかした賑わいのあるまち～

地域づくりの背景

東山温泉は、入込数が減少傾向にあることから、かつての賑わいを取り戻すことが求められています。

「いにしえと夢の森」(旧滝沢街道・飯盛山・いにしえ夢街道・背あぶり山・小田山一帯)では、民間と行政が一体となって史跡会津藩主松平家墓所や史跡葦名家花見ヶ森廟をはじめとする歴史資源や自然を保全・整備し、観光振興や郷土学習等へ活用する取り組みが進められています。

豊かな自然に恵まれた東山ダムを含む湯川上流や周辺の森林などは、市民の憩いの場として親しまれています。

地域の西部は、中心市街地に近く、宅地化が進んでおり、良好な住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

歴史・自然・温泉をいかした賑わいのあるまちをつくる

美しい自然が守られたまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

民間と行政が連携して「おもてなし」の向上や温泉街の整備に取り組み、東山温泉の活性化を図ります。

「いにしえと夢の森」に残る自然と歴史的な資源の有効な活用と保全を図ります。

歴史資源をいかすとともに、農業との連携を図りながら、東山温泉を滞在型観光の拠点とし、交流人口の増加を図ります。

市民との協働により「いにしえと夢の森」を活用し、郷土学習を推進します。

市民に身近な自然である森林の適正な保全に努め、教育・レクリエーションの場として活用を推進します。

身近な道路の整備を推進するなど、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

温泉地域活性化への支援

名勝会津松平氏庭園の保存整備

いにしえと夢の森を活用した学習活動の推進

背あぶり山公園野草ゾーンの保存整備

人にやさしいみちづくり歩道整備の推進(市道幹 8号線)

史跡会津藩主松平家墓所の保存整備

史跡旧会津藩大窪山共同墓地の保存整備

会津東山自然休養林の維持管理

市道幹 26号線の整備推進





F 会津大学周辺地域

～ 良好な住環境が整備され、会津大学を中心に文教地区として活気のあるまち～

地域づくりの背景

会津大学をはじめ、県のハイテクプラザなど学術研究機関が立地しており、それらをいかした地域の活性化が求められています。

史跡大塚山古墳や史跡旧滝沢本陣・旧滝沢街道などの歴史的資源が数多く残されており、観光振興や郷土学習等へ活用する取り組みが進められています。

中高一貫教育の県立会津学鳳中学・高校が整備されるなど、教育機関の集積が進んでいます。

健康増進や余暇活動の一貫としてスポーツの役割が大きくなっており、会津若松市民ふれあいスポーツ広場は、地域のスポーツ活動の拠点として利用されています。

扇町地区では、土地区画整理事業が進められており、早期完成による良好な住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

会津大学をいかした活力のあるまちをつくる

地域資源をいかした活気のあるまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

会津大学を中心とした産学官の連携を強化し、ITベンチャーの創業など地域経済の活性化を図ります。史跡大塚山古墳をはじめとする一箕古代遺跡群や旧滝沢街道などの歴史的資源の保全と活用を推進します。

会津大学と連携して、教育旅行の誘致を推進し、交流人口の増加を図ります。

会津若松市民ふれあいスポーツ広場をいかし、スポーツ活動を充実します。

扇町土地区画整理事業を推進するなど、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

ITベンチャーの集積
教育旅行の誘致
ニュースポーツの振興
白虎山見線の整備推進
亀賀山見線の整備推進
滝沢浄水場の整備
個別生活排水処理施設の整備

会津大学と市民との交流促進
一箕古代遺跡群の保存整備
扇町土地区画整理事業の推進
亀賀鶴ヶ城線の整備推進
会津大学周辺道路の整備推進（まちづくり交付金事業）
公共下水道の整備
納骨堂の整備





G 芦ノ牧温泉・大川周辺地域

～豊かな自然がもてなす、南の玄関口として発展するまち～

地域づくりの背景

大川羽鳥県立自然公園をはじめとする美しい自然や、史跡大戸古窯跡群など貴重な自然・歴史資源に恵まれています。

農業生産基盤の整備が進められ、水稻を中心にりんごなどの果樹栽培が行われていますが、山間地のため耕地が狭く、経営の安定化への取り組みが求められています。

芦ノ牧温泉は、入込数が減少傾向にあることから、かつての賑わいを取り戻すことが求められています。本市と南会津地域や北関東を結ぶ国道 118 号と会津鉄道会津線が地域を縦貫しており、本市の南の玄関口として交通基盤のさらなる充実が求められています。

多目的ダムである大川ダム周辺には公園等が整備され、市民の憩いの場として親しまれています。

地域づくりの目標

美しい自然と農林業が調和したまちをつくる

芦ノ牧温泉を中心に南の玄関口としてふさわしいまちをつくる

交流が盛んな活気のあるまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

多様な機能を有する森林や貴重な水資源である河川など、豊かな自然環境や美しい自然景観を保全します。

農業生産基盤の整備や地域振興作物の栽培を促進し、農業経営の安定化を図ります。

周辺観光地と連携するとともに、大川ダムなどの地域資源をいかしながら、地域と一体となって、芦ノ牧温泉の活性化を推進し、交流人口の増加を図ります。

豊かな自然をはじめとする地域資源をいかした農業体験や、温泉街との連携などにより農業の活性化を図ります。

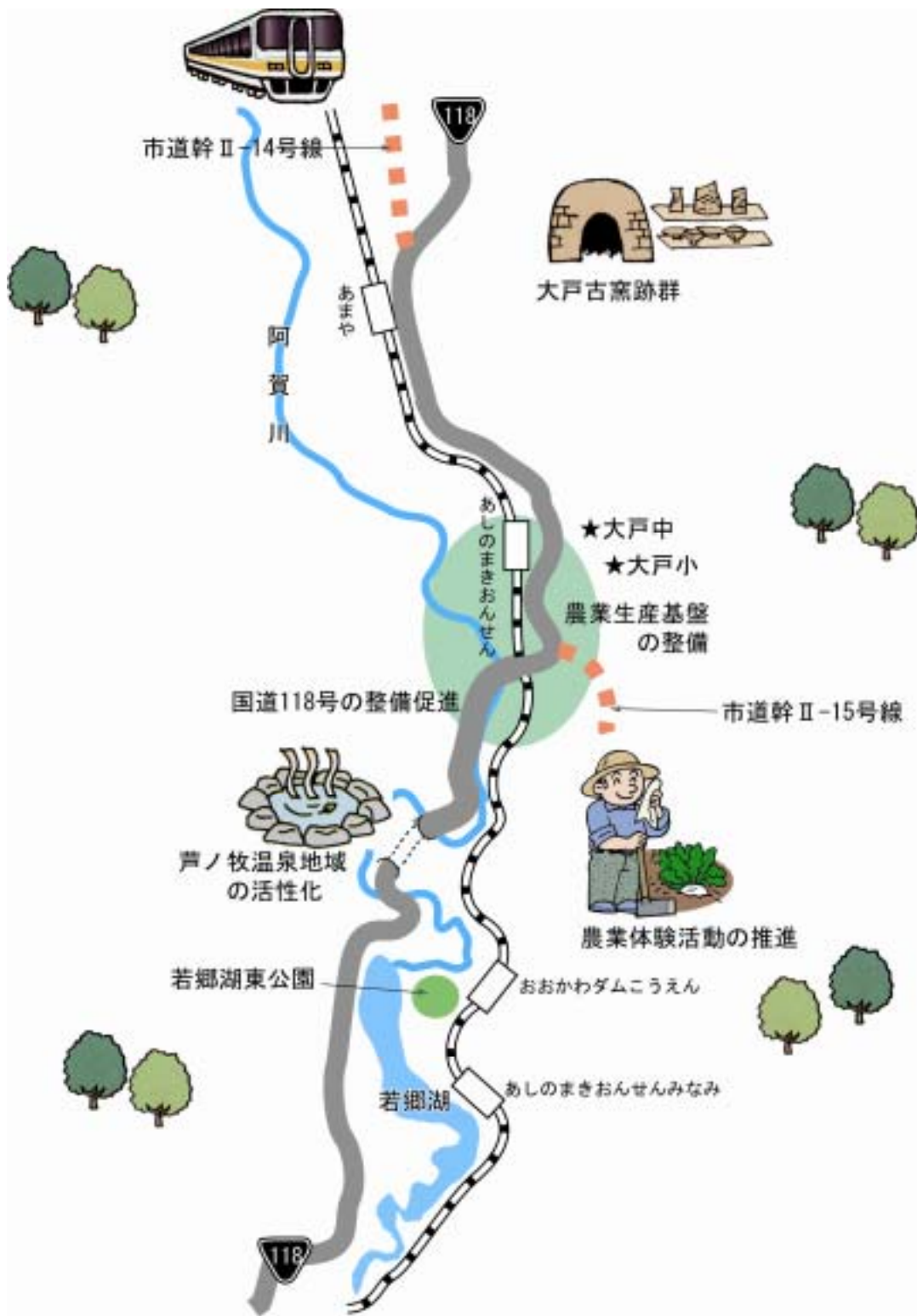
地域高規格道路会津縦貫南道路の早期整備促進など、交通基盤の充実を図ります。

身近な道路の整備や汚水処理事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

農業生産基盤の整備促進（ほ場・農道整備）
認定農業者等の担い手の育成
温泉地域活性化への支援
史跡大戸古窯跡群の保存整備
国道 118 号の整備促進
市道幹 15号線の整備推進
林道の整備（谷地平線・舟子線）

地域振興作物の高品質安定生産
農村公園の整備
農業体験活動の推進
地域高規格道路会津縦貫南道路の整備促進
市道幹 14号線の整備推進
個別生活排水処理施設の整備
会津鉄道の安全対策・高速化の取り組みへの支援





H 猪苗代湖周辺地域

～猪苗代湖などの恵まれた自然をいかした躍動感あふれるまち～

地域づくりの背景

磐梯朝日国立公園を形成する猪苗代湖をはじめ、天然記念物赤井谷地沼野植物群落など豊かな自然に恵まれており、猪苗代湖の水質など、かけがえのない自然環境の保全が求められています。

水稻・大豆・トマトなどの栽培が盛んな地域ですが、集落営農をはじめとした担い手の育成や生産性の向上によるさらなる農業振興が求められています。

グリーンツーリズムの推進、さらには猪苗代湖水浴場や会津レクリエーション公園をはじめとする豊富な地域資源による、地域の活性化が求められています。

身近な道路の整備をはじめ、良好な住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

猪苗代湖などの美しい自然が守られたまちをつくる

地域特性をいかした農業が盛んなまちをつくる

交流が盛んな活気のあるまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

農業との調和を図りながら、猪苗代湖の水質や天然記念物赤井谷地沼野植物群落など豊かな自然の保全を図ります。

農業生産基盤の整備を推進するとともに、集落営農体制の確立により、農業経営の効率化と安定化を図ります。

地域資源をいかした特色あるグリーンツーリズムによる都市住民との交流や、アグリビジネスの推進により農業の活性化を図ります。

会津レクリエーション公園や湖水浴場をはじめとする地域資源を活用するとともに、周辺地域の観光施設と連携し、交流人口の増加を図ります。

身近な道路の整備や簡易水道・汚水処理事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

猪苗代湖の環境保全の推進
農業生産基盤の整備促進（ほ場整備等）
環境にやさしい農業の推進
大豆やトマトなど産地化の推進
猪苗代湖水浴場の環境整備
国道 294 号の整備促進
市道幹 24号線の整備推進
湊地区統合簡易水道の整備

天然記念物赤井谷地沼野植物群落の保存整備
認定農業者等の担い手の育成
集落営農の推進
グリーンツーリズムの推進
（仮称）湊統合保育所の整備
猪苗代湖岸一周道路の整備促進
市道幹 21号線の整備推進
個別生活排水処理施設の整備





I 北会津地域

～みどりの田園景観のなかで、農業と良好な住環境が調和して発展するまち～

地域づくりの背景

特別栽培農産物や加工品の開発など、高付加価値型農業による収益性の高い農業をめざした取り組みが進められています。

花き、イチゴ、アスパラガスなどの施設園芸やリンゴ、ぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われており、それらをいかした観光農業のさらなる推進が求められています。

地域内には、県の天然記念物に指定されたイトヨの生息する白山沼やゲンジボタルの生息するホタルの森があり、それらの地域資源をいかした地域の活性化が求められています。

新市の一体化を促し、地域間の交流を盛んにするため、中心市街地とのアクセスの向上や地域内の幹線道路の整備など、交通基盤の充実が求められています。

阿賀川や宮川の美しい水辺空間をはじめとする豊かな自然や美しい田園景観が残されており、それらの保全が求められています。

教育施設とともに、上下水道など身近な住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

高付加価値型農業による活力あるまちをつくる

地域資源をいかした活気のあるまちをつくる

豊かな自然が残る美しいまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

特別栽培米の作付けによる高付加価値型の稲作を中心に、施設園芸作物や果樹などの振興作物を組み合わせた複合経営による農業振興を推進し、産地の確立とブランド化を図ります。

観光農業を推進するとともに、ホタルなどの地域資源をいかして、交流人口の増加を図ります。

美しい田園景観や豊かな自然環境の保全を図ります。

交通の安全性を向上させるとともに、幹線道路の整備をはじめとする交通基盤の充実・強化を図ります。

北会津地区シビックゾーンにおいて、北会津中学校をはじめとする教育施設等の整備を推進します。

身近な道路の整備、上下水道事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。

主な取り組み

認定農業者等の担い手の育成
農道の整備

ホタルの生息地の拡大

天然記念物白山沼イトヨ等の保存

巡回バスの運行

会津坂下・本郷線の整備促進

市道幹 32号線の整備推進

北会津中学校など北会津地区シビックゾーンの整備

介護保険施設の整備促進

公共下水道の整備

個別生活排水処理施設の整備

特別栽培米など高付加価値型農業の推進

観光農業の推進

ホタル祭りの実施

史跡田村山古墳の保存

国道 49 号と北会津地域を結ぶ阿賀川新橋梁の整備促進

市道幹 28 号線の整備推進

防雪柵の整備（市道幹 32 号線）

水季の里の分譲

上水道の整備（北会津西部地区）

農業集落排水処理施設の整備

阿賀川河川敷公園（蟹川緑地）の整備





Ｊ 河東地域

～ 自然と調和し、文化を守る心豊かで活力あふれるまち～

地域づくりの背景

平坦部においては、優良な稲作地帯としての良質米生産、中山間部においては、高冷地の環境をいかしたソバや園芸作物の生産振興が行われています。

磐越自動車道や国道 49 号、国道 121 号、JR 磐越西線など幹線道路や鉄道が集中しており、会津地方の発展のため、さらなる交通基盤の充実強化が求められています。

磐梯河東インターチェンジ周辺では、地域の活性化につながる有効な土地利用が期待されています。

地域の北部には、地域経済を支える大規模な工場や水力発電所が立地しています。

地域の西部には、会津地方における県立病院などのネットワークの核となる県立会津統合病院（仮称）の整備が計画されています。

国指定重要文化財八葉寺や空也念仏踊りをはじめとする歴史的・文化的資源に加え、観光施設も多く、それら資源の保存とともに、観光振興による地域の活性化が期待されています。

日橋川や森林原野など豊かな自然に恵まれており、その保全が求められています。

教育施設の整備とともに、快適でゆとりある住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

地域特性をいかした農業が盛んなまちをつくる

交通基盤をいかして発展するまちをつくる

農業と商工業が調和し発展するまちをつくる

豊かな自然が残る美しいまちをつくる

安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

集落営農の推進を通じた担い手の育成や農地の利用集積を進め、農業経営の安定化を図ります。

JR 磐越西線の利便性の向上など交通基盤の充実を図ります。

インターチェンジの機能をいかした土地利用を検討します。

県立会津統合病院（仮称）が円滑に整備促進されるよう支援・協力します。

県立会津統合病院（仮称）周辺は、優良農地として保全することを基本としながらも、県の計画や利用者の要望等を踏まえた土地利用についても検討します。

貴重な歴史的・文化的資源の保全を図るとともに、周辺地域と連携し、交流人口の増加を図ります。

美しい田園景観や豊かな自然環境の保全を図ります。

身近な道路の整備や下水道事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。

河東学園において、統合小学校をはじめとする教育施設の整備を推進します。

主な取り組み

農業生産基盤の整備促進（ほ場整備）

地域振興作物の高品質安定生産

JR 磐越西線の利便性向上の推進

郡山遺跡の保存整備

近隣公園（広田西公園）の整備

（仮称）広田西団地の整備

個別生活排水処理施設の整備

会津坂下・河東線の整備促進

市道幹 38 号線の整備推進

通学路線の整備推進（河 3-110 号線、河 3-125 号線）

市道幹 39 号線の整備推進

認定農業者等の担い手の育成

ソバを活用した地域おこしの推進

県立会津統合病院（仮称）開設への支援・協力

空也念仏踊り等の民俗芸能の保存

統合小学校など河東学園の整備

公共下水道の整備

北山・会津若松線の整備促進

市道幹 37 号線の整備推進

消融雪施設の整備（市道幹 40 号線外）

市道幹 37 号線の整備推進

